

びわこ学園だより

Biwako Gakuen Newsletter

vol.
146

2024年(令和6年)
7月発行

もくじ

表紙	1P
令和6年度着任式	2P
びわこ学園からのご報告	3P
令和6年度創立記念式典報告	3P
令和6年度創立記念講演報告	4P
61年目を迎えたびわこ学園 ～各所の日常～	5～6P
令和6年度事業計画	7～10P
令和6年度予算	11P
協力ありがとう (R5年12月～R6年3月)	12P

新たに踏み出す1年に！

おかげさまで創立61年



令和6年度
社会福祉法人
びわこ学園
着任式



宣 誓

新任職員を代表して、誓いの言葉を述べさせていただきます。

本日はお忙しい中、私たち新任職員のために、着任式を開催していただき、心より感謝申し上げます。先程、理事長からの激励の言葉を頂戴し、私たちの責務を改めて自覚し、身の引き締まる思いです。

新任職員の仲間と共に、びわこ学園の職員の一員として迎えて頂いたことを、心より感謝申し上げます。

私たちは、びわこ学園の理念に基づき、一人ひとりの尊厳を尊重し、命を支え、障害のある方々が「ふつうの生活」を送れるようサポートすることを使命と考えています。そして、いのちが輝くよう何事にも謙虚に、向上心を持って、日々全力で取り組んでいきたいと思えます。

また、先輩方が築き上げてこられたびわこ学園の伝統をさらに発展できるよう尽力して参ります。

私たちは、まだ社会人としても未熟で、わからないことばかりです。

どうか寛大なお心でご指導、ご助言のほど、よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、新任職員一同を代表いたしまして誓いの言葉とさせていただきます。

令和六年四月一日

新任職員代表 山本 果歩

障害の重い人たちの生活、そしてこれからのびわこ学園を共に支える仲間として、本年度は17名の正規職員を迎えることができました。理事長から一人ひとりに辞令が手渡され、また、新任職員代表からは、上記の宣誓がありました。現在は、それぞれの部署で日々頑張っているところです。

(法人事務局人財育成部)

びわこ学園医療福祉センターで発生した 虐待事象について（ご報告）

社会福祉法人びわこ学園

昨年8月にびわこ学園医療福祉センター草津で発生しました身体的虐待事象につきしては、被害に遭われた利用者様およびご家族様に対し、改めて深くお詫び申し上げます。また、びわこ学園を利用されておられる利用者様およびご家族様、関係者の皆様、びわこ学園で働いている皆様にも多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことに対しても深くお詫び申し上げます。

本事案発生後、滋賀県と草津市による調査とご指導をいただきながら、弁護士、保健師、福祉関係者の第三者による虐待事象検証委員会を設置して事案の検証と原因究明、および再発防止対策に取り組んでまいりました。本年3月には報告書と対策を取りまとめ、滋賀県および草津市へご報告いたしました。また、同月には当法人理事会および評議員会、さらに6月に両医療福祉センターを利用されている利用者ご家族および関係者様に同様にご報告させていただいたところです。

二度とこのようなことが起こらないように、再発防止に取り組み、利用者様のいのちの尊厳を守りながら、安心して利用していただけるよう役職員一丸となって努めてまいります。

（事案と取り組みの概要に関しては、当法人ホームページへ掲載させていただいております。）

令和6年度創立記念式典報告

法人事務局

去る6月3日、医療福祉センター野洲地域交流スペースの会議室で創立記念式典を開催しました。

昨年創立60周年を迎えた中で、二度と起こしてはならない事案がありました。冒頭の山崎理事長の挨拶では、「創立61年を迎えた中、近江学園から受け継いできた『発達保障』という考え方や、『この子らを世の光に』という大きな理念の下で、障害児者支援の実践を繰り広げてきた基本姿勢を今後も継続しながら、障害児者理解を広め、よりよい共生社会を形作っていく」ことを述べられました。

創立記念式典では、毎年これまで役員や評議員としてびわこ学園にご支援いただいていた皆様や日々各施設でボランティアとしてご支援いただいている皆様、ご寄附で運営にご支援いただいた皆様への感謝状の贈呈と、職員として長年勤めている方への表彰を行っています。今年度は10組の皆様へ感謝状を、15名の職員に永年勤続表彰（10年・25年）をお贈りすることとなりました。当日ご出席いただいた皆様には、山崎理事長から順にお受け取りいただきました。皆様のご支援ご尽力により、びわこ学園の事業が支えられていることに改めて感謝できた時間となりました。



式典で挨拶する山崎理事長（上）と
感謝状および永年勤続表彰をお受け取りいただいた皆様と
山崎理事長および丸山常務理事（下）

「実践をつなぐ」

講師 市川 忠稔氏（社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会）

昨年6月にびわこ学園は、創立60年を迎え、「この子らを世の光に」を継承しながら、「この子らとともに光輝く時代へ向けて」新たな歩みを始めました。創立61年目となる今年度の記念講演は、長く滋賀県の社会福祉分野でご尽力されておられる市川忠稔氏（滋賀県社会福祉協議会会長・社会福祉士）を講師にお招きし、「実践をつなぐ」というテーマでご講演いただきました。

市川さんは、これまでのご経験の中で、びわこ学園に関係するいくつかの業務に携わられていたことについて話された後、「滋賀県における福祉の取り組みの歴史」、「公私連携・制度や分野を超えての実践」、テーマである「実践をつなぐ」を柱として、以下のようなご講演をいただきました。

滋賀における第二次世界大戦後の福祉の取り組み

滋賀における第二次世界大戦後の障害福祉の取り組みは、糸賀先生を中心とした近江学園の開設に始まった。その後も、制度がない中で多くの施設が開設された。また、乳幼児健診や共同作業所等の民間で始められた取り組みは、県が支援し、その後国の制度になっていった。

このように、当時の滋賀県における福祉は、関係者による「いのち」と「いきがい」を支える取り組みの連続であった。

公私連携による各地での取り組み・福祉関係者における制度や分野を超えての仕組みと実践づくり

この間滋賀県内では医療と福祉の多職種で「医療福祉」を創造すべく、関係者間でお互いの果たすべき・期待される役割を再確認し、課題や成功体験を共有しながらそれぞれの活動に生かしてきた。

また、福祉関係者においても、地域住民がともにいきいきと地域の中で暮らせるように、「滋賀の縁創造実践センター」を推進母体として、生活に困りごとがある方々のニーズに応え支援する複数の事業を立ち上げて進めてきた。



令和6年度創立記念講演講師 市川 忠稔氏

「実践をつなぐ」うえで

－仕事をやっていて幸せを感じる瞬間－

「いのち」と「いきがい」を支えるとは、人格を大切にすること。向き合っている人々に思いが伝わった時に「仕事をやっていてよかった」と幸せを感じ、自己実現を果していることが実感できる。

また、相手の「いのち」を大切にすることと同じように、自分の「いのち」を大切にすることにつながる。

繰り返しの毎日でも、このことを意識すれば、新たな発見があり、幸せを感じながら継続することができる。

－学ぶことの大切さ－

専門職として、先輩方が実践された「経験」に学び、「地域」に学ぶ。そして、その学びをいかした実践経験の積み重ねと地域の人との支え合いが、新しい地域福祉、共生社会へつながっていく。

講演の最後には、糸賀先生や岡崎先生が目指された「この子らを世の光に」「ともに生きる」社会の思想を受け継ぎ、多様性を尊重する「共生社会」の実現に向けて「誇りをもって取り組んでほしい」という私たちへの応援メッセージをいただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

（法人事務局事業企画部）

記念講演の動画と講演資料については、「びわこ学園ホームページ」からご覧いただけます。



61年目を迎えたびわこ学園 ～各所の日常～



春らんまん
たくさんの花に囲まれて



見て見て～
おもしろ手が…



新年度がスタート!
外出を楽しんで
おいしい食事
堪能しました

**びわこ学園
医療福祉センター草津**



第1病棟
はな金での/板



第2病棟
居室での風景



第3病棟
リズムでの風景

**びわこ学園
医療福祉センター野洲**

ひまわりはうす
蜜ろう粘土の作品



知的障害児者 地域生活支援センター

ひまわりはうす
喫茶活動



さくらばうす
お花見外出

びわこ学園 障害者支援センター

Enjoy the Journey
♪ マーベルヒーローズ ♪
marvelstar no.1

えがお



えまいのうた

1. え ま い えびち はれた な
2. え ま い えびち げんき だ
3. え ま い えびち おやすみ

てんきがいい な おそとで いっしょに ごはんをたべよう
ニコニコえがお みんなで たのしく フランクのろう
おうちにかえろう えまいち みんなで たのくすこと

4. え ま い えがおで まいにち いってきま す オ-

えまい



利用者さんとえまい職員がつくった
「えまいのうた」をお披露目します。



◀ 「えまいのうた」 コチラから聴けます。

【 概 要 】

社会福祉法人びわこ学園 令和6年度事業計画

(詳細は、びわこ学園ホームページに掲載)

I. 法人事務局

<重点項目>

- ①新中期計画の各計画項目の進捗を経営会議等で確認し、理事会・評議員会に適宜報告します。
- ②障害者虐待防止、事故防止に法人全体として取り組みます。
- ③令和7年度「滋賀県重度障害者地域包括支援事業」の見直しを見据え、課題等について情報収集と分析、対応策の検討を行います。
- ④人財の確保・定着を進めます。

1. 事業運営・展開

(1) 新中期計画に沿った事業の実施

・第四期中期計画の目的として、①「医療・福祉」の各ネットワーク、関係機関との連携により、びわこ学園事業（施設入所機能・障害児者医療・相談支援機能・地域支援機能）との機能分担による地域包括支援ネットワークの中で、入所機能も含めた障害児者の地域支援を支える仕組みや人財育成をさらに進める、②人財不足による法人事業運営の厳しさが増す中、職員がやりがいを持てる働き方ができるような人財確保・育成・定着や業務効率化のための対策を一層進めるとともに、法人全体の内部管理体制を強化し、安定した事業運営を目指すとしています。

これら2つの課題についての取り組みを、経営会議等で共有し法人としての一体的事業運営を図ります。

(2) 地域における公益的な取り組み

・昨年度から受託した重症心身障害児者・医療的ケア児等支援センターの県民への周知をさらに図りながら事業の充実を目指すとともに、センターの安定した運営を行います。

具体的には①主要な3機能の充実と安定化（三次圏域の相談支援、協議会等への取り組み、各種研修事業）、②保育・教育関係とのさらなる連携強化、③支援センターを担う人財育成と安定化を目指します。

・令和4年度から受託している医療的ケア児者対応事業所開設促進事業は3年目を迎えています。

この間介護老人保健施設の参入がありましたが、これらの事業所へのフォローを「こあゆ」や相談支援事業所と連携しながらすすめていきます。

- ・滋賀県主導のもと、特に医療型短期入所（宿泊）サービスの不足している高島圏域、湖北圏域への介入を強め、病院等での事業開始を促進していきます（モデル事業の推進）。
- ・令和5年度に実施した実態調査内容を分析し、制度政策に結びつくよう行政に対し提案を行っていきます。

(3) 社会への発信力の強化

・各事業所等での地域交流の促進、各地域研修会等への講師派遣など、重症児者や法人事業等について理解を深められるよう取り組みます。

(4) 滋賀県への要望

・報酬改定による収支への影響等の確認作業を行い、県要望に向け、県担当者との協議を早期に行います。

2. 組織運営・管理

(1) 職員の安定的な確保

- ・看護師の確保対策については、令和5年度より応募者の鈍化がみられることから、両医療福祉センターの看護基準7：1維持対策を図るため、プロジェクト会議を中心に対策を進めます。
- ・生活支援員の確保対策について、これまでの対策を継続し、特に学生に向けての発信の強化、インターンシップおよび福祉養成校からの実習生の積極的受けとめを行います。
- ・医療部スタッフ（薬剤師、心理判定員等）についても、各事業所、年間を通して必要数を確保できるよう、各事業所の状況を把握し確保します。

(2) 人財の定着と育成

- ・人権学習、特に利用者の権利擁護についての理解を深めます。
- ・退職理由の把握と分析およびストレスチェックの結果等をもとに、職場の物理的環境や業務内容および職場の人的環境（コミュニケーション環境）等を点検し、離職率の低減に向けて必要な対策を検討します。
- ・働きやすく魅力ある職場環境への3つの取り組み

として、①「抱え上げない介護」実践の推進 ②多様な働き方の検討 ③職場における「心理的安全性」の推進のため、各部連携会議と共同し具体的な取り組みを行います。

(3) 組織検討の継続

(4) 内部管理体制の強化

・コンプライアンスを高める取り組みを推進します。

3. 経営・財政

(1) 財政基盤の強化

・法人内で月次データの共有化を図るとともに、財政状況および予算の執行状況について、適宜、経営会議、理事会、評議員会等に報告します。また、施設建替えに向けて積立額の確保にも取り組みます。

(2) 適正な計算書類の作成に向けて

・経理関係規則の適正な運用を図るべく内部・外部監査機能を活用した業務改善に取り組みます。

II. びわこ学園医療福祉センター草津

<重点項目>

①「障害者施設等入院基本料 7：1」基準の安定維持

数値目標：7対1基準維持のため看護師人数75名以上の確保・維持を目指します。

具体的手立て：事業安定実施のための職員確保と体制維持。施設基準について点検・定時確認します。

②医療安全・虐待防止

数値目標：虐待をなくし、ひと間違いによる誤薬をなくします。

具体的手立て：令和5年度の事案の改善計画を進め、虐待防止委員会・医療安全管理委員会で虐待のリスクを検出します。

③働きやすい職場づくり

具体的手立て

- ・重症心身障害看護・生活支援の魅力を再確認し、その思いを提案、共有・発信することを目指します。
- ・病棟内の勤務体制や働き方についてのワークライフバランスの検討を進めます。
- ・障害児者の支援理念を学ぶ機会をつくります。
- ・部門を超えた相談体制を実施します。
- ・提案や意見を出しやすいしくみを考え実施します。

1. 人権への配慮と対策の充実

(1) 不適切な対応、虐待などの早期発見迅速かつ適切な対応を行います。

2. 医療安全・事故防止対策の充実

(1) 誤薬に関わるハード面の検討をします。(バーコード導入の検討)

3. 入所利用者への取り組みの充実

(1) 重度重症化への対応力を高めます。

(2) 栄養サポートチーム加算・専門研修を受けた栄養・薬剤・看護および医療の専任・専門職が病棟ラウンドを行い、入所者の栄養に関する課題を病棟全体でとらえ、入所者の生活に反映させます。

(3) 「人生の最終段階」での生き方、あるいは将来の医療選択の倫理的視点について学習の場やカンファレンスを持ちます。

4. 地域支援の充実

(1) 有目的入所、短期入所などにおいて、地域や関連機関との情報共有を進めていきます。

(2) 外来機能を充実させていきます(ダウン症の成人外来や外来NST(栄養サポート外来)など)。

5. 職員の定着と育成

(1) 看護基準7対1継続のための人員確保(紹介業者の活用、多様な勤務形態への配慮)を法人と連携してめざします。

(2) 一人ひとりが自ら考えて根拠に基づいた実践ができるための研修と人材育成を行います。

(3) 自己のキャリアを考え、職員の能力向上やスペシャリストの育成を継続し、勤労意欲の向上を図ります。

6. 防災・防犯対策の充実

(1) 業務継続計画(BCP)をさらに実効性のあるものにしていきます。

7. その他

(1) 糸賀、岡崎思想を学び「いのち」等への共通理解を深めます。

(2) 重要事業業務を総合点検し、計画的な実施ができていくか定時確認します。

(3) 医療機能としての認可病床・障害福祉サービス機能共に安定的な稼働率をめざします。

III. びわこ学園医療福祉センター野洲

<重点項目>

①ソーシャルメディアの活用と外国人労働者の雇用を促進し、すべての部署の人員体制の充足に努めます。

②第3病棟の重度化対策としての改修および環境整備のための基本設計を行います。

③地域支援ベッドによる観察・検査・治療等のための有目的入院を積極的かつ計画的に受け入れ、より機能的な地域支援ベッドの活用を進めます。

1. 人権への配慮と対策の充実

・人権教育や研修の実施により人権リスクの判断対応力の向上を図ります。

- ・職員が職場で孤立したり、ストレスを抱えたりすることを防ぎ、支えあい温もりのある職場づくりを進めます。また、ストレスチェックの受検率の向上を目指します。（受検率80%超）

2. 医療安全・事故防止対策の充実

- ・不適切な手順による医療関連事故を未然に防ぎます。
- ・介護中の転落や転倒、骨折事故をゼロにします。
- ・すべての病棟に観察カメラを設置し、施設における事故防止と事故後の検証に活用します。
- ・労働安全衛生委員会による巡視により労働環境改善を図ることで、労災事故の発生を予防します。

3. 入所利用者への取り組みの充実

- ・センター草津との医療部連携により、両センター機能分担と連携の整理と活用を促進します。
- ・呼吸サポートチームの活動を継続します。
- ・骨密度測定装置を導入し、包括的な診療・支援体制を充実させます。
- ・センター草津の言語聴覚士の協力を得て、摂食機能評価と嚥下訓練・相談の充実を図ります。
- ・リハビリ課スタッフを増員し、重度重症化による個別のニーズや余暇支援の充実を図ります。

4. 地域支援の充実

- ・短期入所新規契約者・利用再開者の5人増を目標に、事前診察及び体験利用を進めます。
- ・感染対策に配慮できる第3病棟短期ゾーンの整備検討を進めます。
- ・臨床心理士を新たに1名採用し、地域の発達障害児者への心理検査や発達相談を実施します。
- ・フットケア外来や医療的ケアへの相談ができる「看護外来」の設置に向け準備します。

5. 職員の定着と育成

- ・活発な研究活動による学会・論文報告を発信し、研修への参加を推奨します。
- ・看護学生や福祉実習生を積極的に受け入れ、看護・支援教育担当を中心とした育成体制の充実を推進し、職員定着を図ります。
- ・抱え上げない介護を推進し、「推進事業所」となれるよう研修体制を整備します。

6. 防災（防犯）対策の充実

- ・令和5年度に作成した業務継続計画（BCP）を従業者へ周知し、必要な研修及び訓練を定期的に行います。
- ・施設における地理的リスクを把握し、必要な整備を計画します。

- ・他施設や他法人、地元自治会との連携協定に向けた協議を行います。

7. その他

- ・省エネ診断報告を元に、省エネ設備導入の検討とエネルギー使用状況の見直しを行います。
- ・ICTの活用で業務負担軽減を図ります。
- ・南桜から北桜への移転20周年を契機に、所内行事やイベントを企画し、広くつながります。

IV. 知的障害児者地域生活支援センター

<重点項目>

- ①ひまわりはうすにおいてセーフティーネット事業の一つとしてヘルプ事業を展開して、緊急時及び医療的ケアや行動障害を呈するか等のニーズに対応した支援を円滑に実施します。
- ②ICTを導入することにより大津センターにおける業務の効率化を図り、働きやすい環境づくりと利用者支援への集中を図ります。

1. 事業運営・展開

- ①さくらはうす（通所課）
 - ・令和7年度以降の人工呼吸器等の医療的ケアが必要な方及び強度行動障害を呈する方の利用を見据え、学校と連携しアセスメントを行います。また体制整備についての検討を行います。
 - ・3階の利用者の移行について、アセスメントを行い個別支援計画に基づいて取り組みを進めます。
 - ・職員の育成と定着支援に取り組みます。
- ②ひまわりはうす（支援課）
 - ・重点項目①について、取り組みます。
- ③生活支援センター（相談課）
 - ・医療的ケアの方や行動障害を呈する方を中心に計画相談の契約者数を増やします。
 - ・利用者・家族からの相談支援に対する評価のための聞き取りを実施した上で、相談支援の向上に努める対策を検討します。
 - ・相談支援における災害時の利用者支援に関して、モニタリング時に利用者家族に災害時の意向等の聞き取りを行い、利用者の安否確認のための台帳作成や利用者の個別避難計画の策定への協力を行います。
 - ・作業療法士の巡回相談における発達障害児のアセスメントニーズについて関係機関と協議を行い、増加するニーズに対する大津市の体制強化への働きかけを行います。

2. 組織運営・管理

- ・重点項目②について、取り組みます。
- ・大津センターの看護体制について、さくらはうす

すの看護リーダーとなる職員を中心に看護組織体制を構築します。

- ・災害時のBCP（事業継続計画）に基づき、職員対象の研修と訓練を計画し実施を行い、職員への災害時対応の浸透を図り、必要な備蓄等の整備を行います。
- ・「抱え上げない介護（ノーリフトケア）」の取り組みを進め、外部向け研修を実施します。

V. びわこ学園障害者支援センター

<重点項目>

- ①障害者支援センターにおける組織改編検討プロジェクト立上げ
 - ・各課に特化・限定した対策に加え、長所を伸ばさせ、足りない部分を互いに補い、連携し合う組織体制について検討チームを設定、検証を深めます。
- ②重い障害のある方を対象とした質の高い相談支援事業の充実と運営の安定化
 - ・「てくてく」について、計画相談「45件」を目標と定め、事業安定のもと地域の重症心身障害者の地域生活を支援します。
- ③デジタル（ICT）技術の活用により働きやすい職場環境づくりと労働生産性の向上を図る
 - ・10月までに給付実績管理・記録管理にかかる統合型業務システムの導入・稼働を目指します。業務の効率化を進めるとともに、限られた人的資源等を利用者支援の充実に活かすことを目指します。

1. 事業運営・展開

(1) 生活介護

- ・生活介護事業における日中活動の場と幅を広げる取組（地域への展開）の具体化を図ります。しょうがい当事者と共に取り組みピアサポート普及活動を進めます。
「抱え上げない介護」の推進と推進事業所の認定取得を目指します。

(2) 相談

- ・相談事業安定化のため、こあゆとの組織検討、OJT体制など先を見据えた人材育成等を検討します。

(3) 児童発達・放課後等デイサービス

- ・多機能型事業所ちょらんど（障害児通所事業）のあり方を再検討します。
- ・医療的ケアを必要とする在宅の障害児者に対して、多職種で連携し、乳幼児期から成人期までそれぞれのライフステージにあわせた生活をサ

ポートします。

(4) 訪問介護

- ・他の居宅介護事業所とも連携を進め、ヘルプステーションちょこれーと。の限られた資源の選択と集中を図ります。

2. 組織運営・管理

(1) 職員配置の適正化と働きやすい職場環境づくり

- ・大変な状況ながら「やりがい」を確かめながら働くことができるよう、所内に職位や所属にとられない複数の相談チャンネルを整え、その課題解決につなげていきます。また、日常的な、意図した職員間のことばがけを大切にします。
- ・次代を担う「地域支援リーダー」の継続的育成と事業所内の学びの場の充実を図ります。

(2) BCPにかかる研修・訓練の実施

- ・作成したBCP（事業継続計画）に関する職員向け研修・訓練を実施します。

(3) 防犯対策

- ・ケアホーム建物内外への「安全・安心カメラ」を設置します。

3. 経営・財政

(1) 各事業所レベルにおける「経営感覚」の浸透と展開

- ・予算編成にかかる事務手続きを簡略化し、各事業所間の予算ベースを平準化、公平化するため、標準単価制に転換します。予算の優先配分を行うなど予算の重点化と効率化を同時並行的に進めます。

(2) 長期修繕計画に基づくファシリティマネジメントの推進と適正な修繕積立の実施

- ・建物・設備等の長寿命化を図るため、計画的な営繕を行い、今後に向けた資金確保の取組を進めます。

(3) 報酬改定対策

- ・令和6年度の報酬改定に伴い、指定基準等を再点検するとともに、「新たな報酬・加算等」と必要時に応じた「事業内容の兼ね合い」を検討します。

令和6年度 社会福祉法人びわこ学園資金収支予算書

拠点区分	サービス区分	拠点区分	サービス区分
法人本部	本部	障害者支援センター	特定相談支援(びわりん、てくてく) 訪問介護ステーション、 共同生活援助(ともる、えまい)
医療福祉センター草津	医療福祉センター草津 重症心身障害児者施設 医療福祉センター草津 短期入所		生活介護(えがお、さんさん、たいよう、かなえ、 ピアーズ)、多機能型事業所ちょこらんど
医療福祉センター野洲	医療福祉センター野洲 重症心身障害児者施設 医療福祉センター野洲 短期入所	医ケア児等支援センター	重症児者医ケア児等支援センター事業
知的障害児者地域生活 支援センター	生活介護さくらはうす、多機能型ひまわりはう す、生活支援、地域生活支援	訪問看護ステーション ちょこれーと	訪問看護ステーション
		長浜診療所	長浜診療所

(単位:千円)

	勘定科目	法人全体	法人本部拠点区分	草津拠点区分	医療福祉センター 野洲拠点区分	医療福祉センター 野洲拠点区分	知的障害児者地域生活 支援センター拠点区分	障害者支援センター 拠点区分	医ケア児等支援センター 拠点区分	訪問看護ステーション ちょこれーと拠点区分	長浜診療所 拠点区分
		予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額	予算額
事業活動による収支	収入										
	児童福祉事業収入	13,576		9,094	4,482						
	障害福祉サービス等事業収入	2,393,885	5,084	629,400	673,300	371,140	692,268	22,693			
	医療事業収入	2,596,313		1,322,456	1,182,660					78,777	12,420
	経常経費寄附金収入	1,200	200	1,000							
	受取利息配当金収入	1,903	3	800	1,100						
	その他の収入	20,440	1,000	10,500	8,100	200	200	110	50	280	
	事業活動収入計(1)	5,027,317	6,287	1,973,250	1,869,642	371,340	692,468	22,803	78,827	12,700	
	支出										
	人件費支出	3,561,805	97,655	1,260,550	1,238,045	328,085	546,378	20,315	56,223	14,554	
事業費支出	586,949		301,098	229,450	9,195	45,361	96	949	800		
事務費支出	545,388	34,980	190,930	197,700	26,603	81,698	2,172	7,663	3,642		
支払利息支出	0										
その他の支出	0										
事業活動支出計(2)	4,694,142	132,635	1,752,578	1,665,195	363,883	673,437	22,583	64,835	18,996		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	333,175	-126,348	220,672	204,447	7,457	19,031	220	13,992	-6,296		
施設整備等による収支	収入										
	施設整備等補助金収入	0									
	施設整備等寄附金収入	0									
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出										
	設備資金借入金元金償還支出	0									
固定資産取得支出	258,714	1,500	160,499	79,769	4,200	12,396			350		
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,862		2,150			1,712					
施設整備等支出計(5)	262,576	1,500	162,649	79,769	4,200	14,108	0	0	350		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-262,576	-1,500	-162,649	-79,769	-4,200	-14,108	0	0	-350		
その他の活動による収支	収入										
	拠点区分間長期借入金収入	10,696					10,696				
	拠点区分間長期貸付金回収収入	2,160	2,160								
	事業区分間繰入金収入	10,640	5,000				640			5,000	
	拠点区分間繰入金収入	140,000	128,000				12,000				
	サービス区分間繰入金収入	50,109		27,879	1,548		20,682				
	その他の活動収入計(7)	213,605	135,160	27,879	1,548	0	44,018	0	0	5,000	
	支出										
	長期貸付金支出	10,000		5,000	5,000						
	積立資産支出	88,122	1,017	12,300	62,500	3,257	7,848	220	980		
拠点区分間長期貸付金支出	10,696	10,696									
拠点区分間長期借入金返済支出	2,160					2,160					
事業区分間繰入金支出	10,640	5,000						5,640			
拠点区分間繰入金支出	140,000		72,000	60,000		8,000					
サービス区分間繰入金支出	50,109		27,879	1,548		20,682					
その他の活動支出計(8)	311,727	16,713	117,179	129,048	3,257	38,690	220	6,620	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-98,122	118,447	-89,300	-127,500	-3,257	5,328	-220	-6,620	5,000		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	-27,523	-9,401	-31,277	-2,822	0	10,251	0	7,372	-1,646		
前期末支払資金残高(11)	1,412,196	183,839	517,606	469,249	0	129,339	0	107,430	4,733		
当期末支払資金残高(10)+(11)	1,384,673	174,438	486,329	466,427	0	139,590	0	114,802	3,087		

ご協力ありがとうございます

令和5年12月～令和6年3月 (敬称略)

寄付金

(寄付金についてはいただいた方の御名前または団体名のみご報告させていただきます。)

(法人)

今宿 功2件/白石 剛/内田克己/遠藤法律事務所/中谷則子/匿名

(びわこ学園医療福祉センター草津)

草津市社会福祉協議会・草津市共同募金委員会/北本宰一/イサム塗料滋賀工場2件

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

はもりべ事務局 小原有貴/株式会社メディック/堀部牧子/武藤一美/優友会

(知的障害児者地域生活支援センター)

大津市社会福祉協議会・大津市共同募金委員会/平野学区社会福祉協議会/優友会

(びわこ学園障害者支援センター)

草津市社会福祉協議会・草津市共同募金委員会2件/大津市社会福祉協議会・大津市共同募金委員会/
青山学区社会福祉協議会

物品の寄付

(びわこ学園医療福祉センター草津)

食 品・・・石塚義之・千恵/二宮博之/社会福祉法人共生シンフォニー/草津市社会福祉協議会/匿名
その他・・・上野 史/渡会やよい/公益財団法人河本文教福祉振興会

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

食 品・・・二宮博之・聡子/タキイ種苗株式会社 研究農場/河村明日香
その他・・・なでしこの会 小西まゆみ/深田佳子/前田 光

ボランティアのみなさん

(びわこ学園医療福祉センター草津)

天理教江西支部/山科たんぽぽ/すずらん/みみすまバンド/ことこと/音の宅急便そよかぜ/BushClover/
盛井バンド(わたむきの里)/御子芝貴美子/勝島三男/勝島百合子/尾浦与子/宇野郁子/田中智子/向吉昌代/
前田五月/西尾悦子/奥田多恵/西川千晴/加藤美由紀/三宅美恵子/田辺久子/西浦正一/加藤常満/
石田登美子/近松清司/中村勝彦/松永朋子/舟木篤栄/池田はるか/香川典代/國吉 早/壺井博美

(びわこ学園医療福祉センター野洲)

近江金田教会/K-Iクラブ/更生保護女性会/天理教婦人会/野洲音訳グループさえずり/together/
ニレトミ会/野洲赤十字奉仕団/レイカ野洲/レイカディア大学園芸科43期/レイカディア大学園芸科44期
/レイカディア大学園芸科45期/レイカディア大学園芸科OB/大津友の会/秋末文孝/秋末道子/
安藤真紀/磯 春樹/今里哲也/上田順子/田中規久子/林 政子/細川久子/加藤常満/川端しづ子/
左部真千恵/辰市由佳/東郷 勇/中富恵子/藤山庸子/堀田千景/森 紳司/元木恭子/元木隆治/
木村真由美/日比野厚/森本恭子/森本夕葵/恒川みどり

(びわこ学園障害者支援センター)

笠縫東学区更生保護女性会 卯田美千代/ドリームポケット 寺井純子

その他の協力団体・会員

びわこ学園後援会 各施設等への事業補助・施設環境充実補助等



社会福祉法人
びわこ学園

発行責任者 理事長 山崎 正策
編集責任者 法人事務局 田處 浩吉
印刷 近江印刷株式会社

法人事務局
びわこ学園医療福祉センター草津
びわこ学園医療福祉センター野洲
知的障害児者地域生活支援センター
びわこ学園障害者支援センター
びわこ学園長浜診療所

TEL 077-587-1144	〒520-2321	野洲市北桜978-2
TEL 077-566-0701	〒525-0072	草津市笠山八丁目3-113
TEL 077-587-1144	〒520-2321	野洲市北桜978-2
TEL 077-527-0494	〒520-0802	大津市馬場二丁目13-50
TEL 077-585-8040	〒524-0014	守山市石田町707
TEL 0749-53-2771	〒526-0845	長浜市小堀町122番1